

鶏肉情勢

2017年4月4日 更新 全農チキンフーズ(株)

項目	内容
供給	<p>1. 国内</p> <p>(1) 平成29年2月単月の実績は、推計で入鶏羽数が前年比99.7%、処理羽数で前年比95.5%、処理重量で前年比95.6%と入鶏羽数は前年並みであったが、閏年であった前年に比べ営業日数が1日少なかったことと大腸菌症によるとみられる「一部破棄」が増加し処理羽数、処理重量とも大幅に下回った。</p> <p>(2) 平成29年3月～5月の計画は、3月の入鶏羽数が前年を下回り4月の処理重量は、全国的に前年を下回る計画となった。特に北部九州地区で1ヶ月にわたり休業する処理場があることも影響すると思われる。5月の処理重量については、入鶏羽数、処理羽数とも前年を上回る計画となっているが北海道・東北地区および中部地区を除いて処理重量の増加は見込まれず前年を下回る見通し。また、種鶏導入後の事故等による羽数の減少やふ卵場の採算性悪化等からひな不足が続き6～7月頃まで需給が逼迫するのではとの見方も出てきており、秋以降の需要期まで長期化する恐れもある。</p>
	<p>2. 輸入</p> <p>(1) 輸入鶏肉の平成29年2月通関実績は、前月に比べ約14千トン増の45.8千トン(前年比96.5%)となった。そのうちブラジルは、36.2千トン(同93.3%)、タイが8.5千トン(同121.1%)。今後の輸入量については日本食肉輸出入協会によると、3月が43.9千トン、4月は39.9千トンとの予測となっている。しかしながらブラジルの食肉不正事件を受け輸入時検査強化により検査にかかる時間が増加していることなどから不透明感が高まっている。在庫がタイトな中で品薄感が一層強まると思われる。</p> <p>(2) 鶏肉調製品は、平成29年2月通関実績が、27.4千トン(前年比94.2%)と例年であれば減少傾向にはあるが、1～2月累計では前年比108.0%の64.1千トンと増加しており夏場向けの焼き鳥と思われる。国別では中国が同104.5%の21.7千トン、タイが同108.8%の41.7千トンとなっている。</p>
需要	<p>1. 家計消費</p> <p>(1) 総務省家計調査による平成29年2月の全国一世帯当たりの鶏肉消費(購入)量は、前年比103.8%の1,360g、購入金額は同96.4%の1,246円。傾向としては、むね肉のテーブルミート需要が拡大したこと、鍋需要により手羽もとが増えたことに起因していると思われる。なお、消費(購入)量は前月を上回り、前年比でも17か月連続で上回った。</p>
	<p>2. 量販・卸</p> <p>(1) 量販店等では、国産への需要が高まる一方、ブラジルの食肉不正事件から、輸入されている食品に不安が広がるのではと国の対応を注意深く見守ることにしているようだ。一部の量販店では販売を中止する動きもあるが、国産も肉への代替とならず、タイ産も肉、国産むね肉、輸入ポーク等ヘシフトの動きもある。また、外食については、これまでの品薄状態に加え更なる輸入減により、ブラジルもも肉の引き合いがより一層強くなっており、卸売価格は、400円/kg前後で取引されている模様。</p>
	<p>3. 業務・加工筋</p> <p>(1) 業務・加工筋も様子見の状態代替にむね肉との要望はあるが、供給が不足しているなか限定的なものとなっている。</p>
在庫	<p>1. 29年1月</p> <p>(1) 平成29年1月の推定期末国内在庫量は国産22.8千トン、輸入品114.4千トンと前年比で共に減少した。国産は年明けから引き続き生鮮販売は好調、輸入品は入荷量の大幅減少で、それぞれ前月比でも減少した。</p>
	<p>2. 見通し</p> <p>(1) 国産在庫は、前月から引き続き生鮮での需要拡大および4月以降の供給量減少により減少傾向は続くと思われる。</p> <p>(2) 輸入品は、ブラジル産が不透明で全体の輸入量は、4月も減少することから国産同様減少傾向と思われる。</p>
相場	<p>1. 3月動向</p> <p>(1) 平成29年3月の相場は、もも肉674円/kg、むね肉313円/kgと、前月比でもも肉が、9円/kg下げ、むね肉は29円/kg上げ、正肉合計で18円/kgの上げとなり、前年比で113.1%と大幅な上昇となった。もも肉は、落ち着いた様相はあるものの引き続き高相場で推移し、むね肉については、前月よりさらに需要が高まり高水準で推移した。</p>
	<p>2. 4月見通</p> <p>(1) 国内生産は大腸菌症等の鶏病発生や鳥インフルエンザ等の影響で供給減が続き輸入品も不足状態。国産鶏肉需要は引き続き好調を維持していくと思われることから、もも肉相場は、月平均で675円/kg、むね肉相場は、310円/kgの高原相場が続くものと思われる。</p>

実績											
生産状況 単位:千羽、千トン、%											
	H29年2月推計実績		H29推計合計		29年3月計画		29年4月計画		29年5月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入鶏羽数	56,433	99.7%	115,981	99.6%	59,966	99.4%	59,165	98.9%	58,803	102.5%	
処理羽数	52,642	95.5%	107,700	98.9%	59,861	102.1%	55,838	98.0%	57,300	101.6%	
処理重量	155.4	95.6%	319.0	98.7%	176.4	101.0%	165.2	96.9%	169.6	99.5%	
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」											
輸入動向 単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H28年11月	51.7	39.0	132.6	41.0	37.1	110.5	92.7	76.1	121.8	55.8	44.2
H28年12月	33.0	41.6	79.4	39.9	37.8	105.6	72.9	79.3	91.9	45.3	54.7
H28年累計	551.2	529.4	104.1	422.0	406.1	103.9	973.2	935.6	104.0	56.6	43.4
H29年1月	31.7	48.4	65.6	36.7	30.3	121.2	68.5	78.7	87.0	46.4	53.6
H29年2月	45.8	47.4	96.5	27.4	29.1	94.2	73.2	76.5	95.6	62.5	37.5
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞											
消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%											
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年) 単位:円				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比					
H28年12月	1,641	1,614	101.7	1,646	1,677	98.2	もも肉 264 906				
H28年間平均	1,353	1,308	103.4	1,274	1,276	99.8	H24年 563 189 752				
H29年1月	1,359	1,335	101.8	1,325	1,336	99.2	H25年 583 246 829				
H29年2月	1,360	1,310	103.8	1,246	1,292	96.4	H26年 626 294 920				
※参考資料:総務省統計局HP											
在庫状況 単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H28年10月	25.9	19.6	132.4	139.1	121.6	114.4	165.0	141.1	116.9		
H28年11月	24.6	21.3	115.4	137.2	120.1	114.2	161.8	141.4	114.4		
H28年12月	24.2	22.2	109.4	121.8	115.2	105.7	146.1	137.4	106.3		
H29年1月	22.8	23.4	97.5	114.4	123.9	92.3	137.2	147.3	93.1		
※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構											
相場(月別) 単位:円、%											
品名	もも肉			むね肉			正肉合計				
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H28年12月	669	676	99.0	258	314	82.2	927	990	93.6		
H29年1月	681	668	101.9	253	283	89.4	934	951	98.2		
H29年2月	685	633	108.2	284	263	108.0	969	896	108.1		
H29年3月	674	617	109.2	313	256	122.3	987	873	113.1		
H29年4月	(675)	612	110.3	(310)	250	124.0	(985)	862	114.3	※()は見通し	
H29年5月	(680)	613	110.9	(310)	248	125.0	(990)	861	115.0		
H29年平均	680	639	106.4	283	267	106.0	963	906	106.3		